



日鉄鉱業株式会社

2024年度（2025年3月期） 第1四半期 決算説明資料

証券コード：1515

2024年8月6日

決算説明資料 目次

1. 2024年度 第1四半期 連結決算概要 ……P.3
2. 2024年度 第1四半期 セグメント別連結決算概要 ……P.4
3. 連結貸借対照表 ……P.12
4. 2024年度 中期経営計画の進捗 ……P.13
5. 2024年度 連結業績予想 ……P.14
6. 政策保有株式に関する方針 ……P.16
7. 株主還元方針 ……P.17
8. 2024年度 第1四半期 トピックス ……P.18

1. 2024年度 第1四半期 連結決算概要

- 売上高は、鉱石部門における石灰石の販売価格上昇等及び金属部門における電気銅の国内販売価格の上昇等により、増収となった。
- 営業利益は、鉱石部門と金属部門における増収等により、増益となった。
- 経常利益は、為替差損を計上したものの、営業利益の増益により、増益となった。
- 親会社株主に帰属する四半期純利益は、増益により税金費用が増加したものの、火災に係る保険金の受領や保有株式の売却益の増加により、増益となった。

(単位：億円)

<業績>	2023年度 第1四半期	2024年度 第1四半期	増減
売上高	399	469	69
営業利益	27	46	18
経常利益	33	40	6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	23	42	18

<指標等>	2023年度 第1四半期	2024年度 第1四半期	増減
銅価格 (¢/lb)	384.56	442.30	57.74
為替レート (円/米ドル)	137.37	155.88	18.51

2. 2024年度 第1四半期 セグメント別連結決算概要（売上高）

（単位：億円）

	2023年度 第1四半期	2024年度 第1四半期	増減	増減説明
資源事業：鉱石部門	153	160	6	石灰石 増収：販売価格の上昇及び増販 燃料その他 減収：石炭販売価格の下落等
資源事業：金属部門	203	262	59	電気銅 増収：国内販売価格の上昇 銅精鉱 増収：増販及び円安の影響 その他 増収：電気金の国内販売価格の上昇及び増販
機械・環境事業	30	34	4	環境商品 増収：環境商品の増販等 産業機械 前年同期なみ
不動産事業	7	7	0	前年同期なみ
再生可能エネルギー事業	4	4	0	前年同期なみ
合計	399	469	69	

2. 2024年度 第1四半期 セグメント別連結決算概要（営業利益）

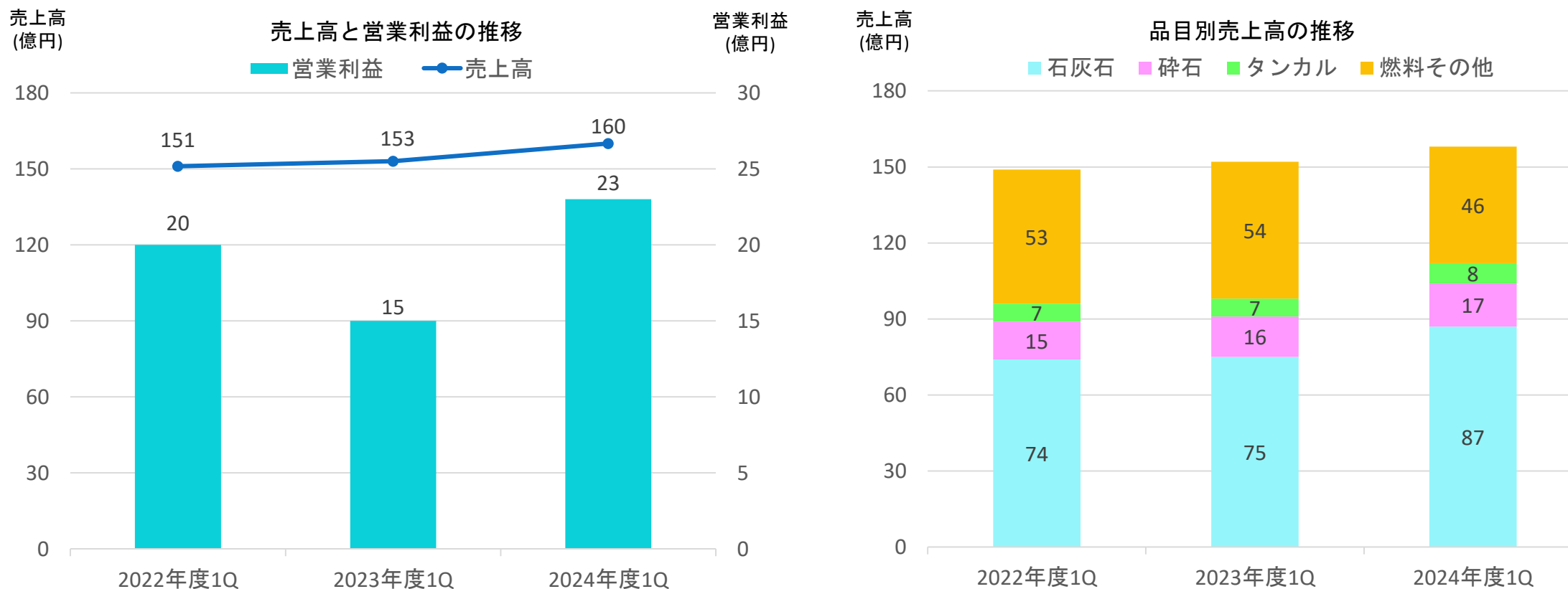
（単位：億円）

	2023年度 第1四半期	2024年度 第1四半期	増減	増減説明
資源事業：鉱石部門	15	23	8	石灰石の販売価格上昇及び増販により増益
資源事業：金属部門	8	16	7	円安進行の影響等により増益
機械・環境事業	3	4	1	増収等により増益
不動産事業	4	4	△0	前年同期なみ
再生可能エネルギー事業	1	1	0	前年同期なみ
調整額	△6	△5	0	前年同期なみ
合計	27	46	18	

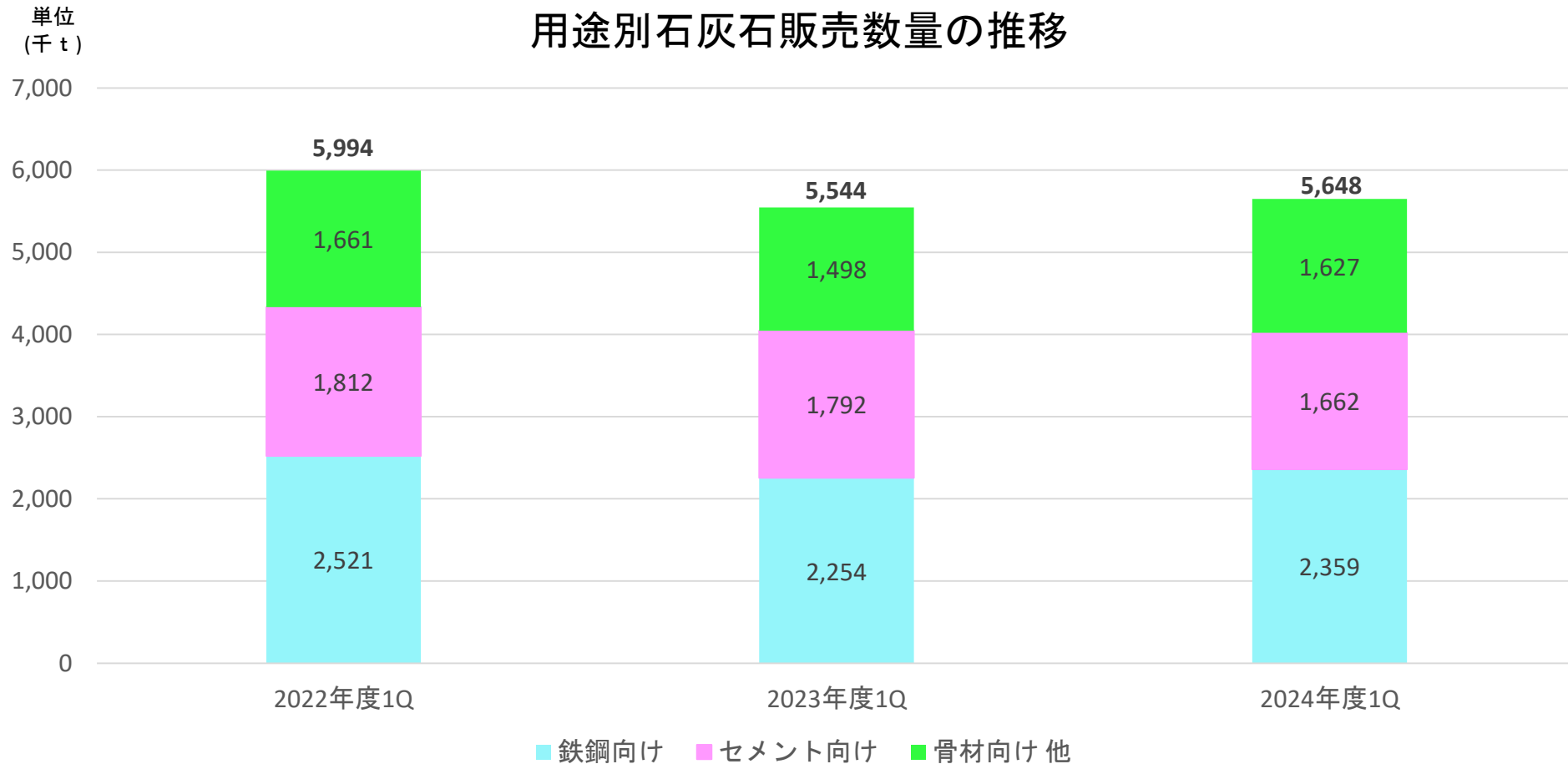
2. 2024年度 第1四半期 セグメント別連結決算概要

資源事業：鉱石部門

- 鉱石部門は、主力生産品である石灰石の販売価格の上昇及び増販等により、売上高、営業利益ともに増加した。

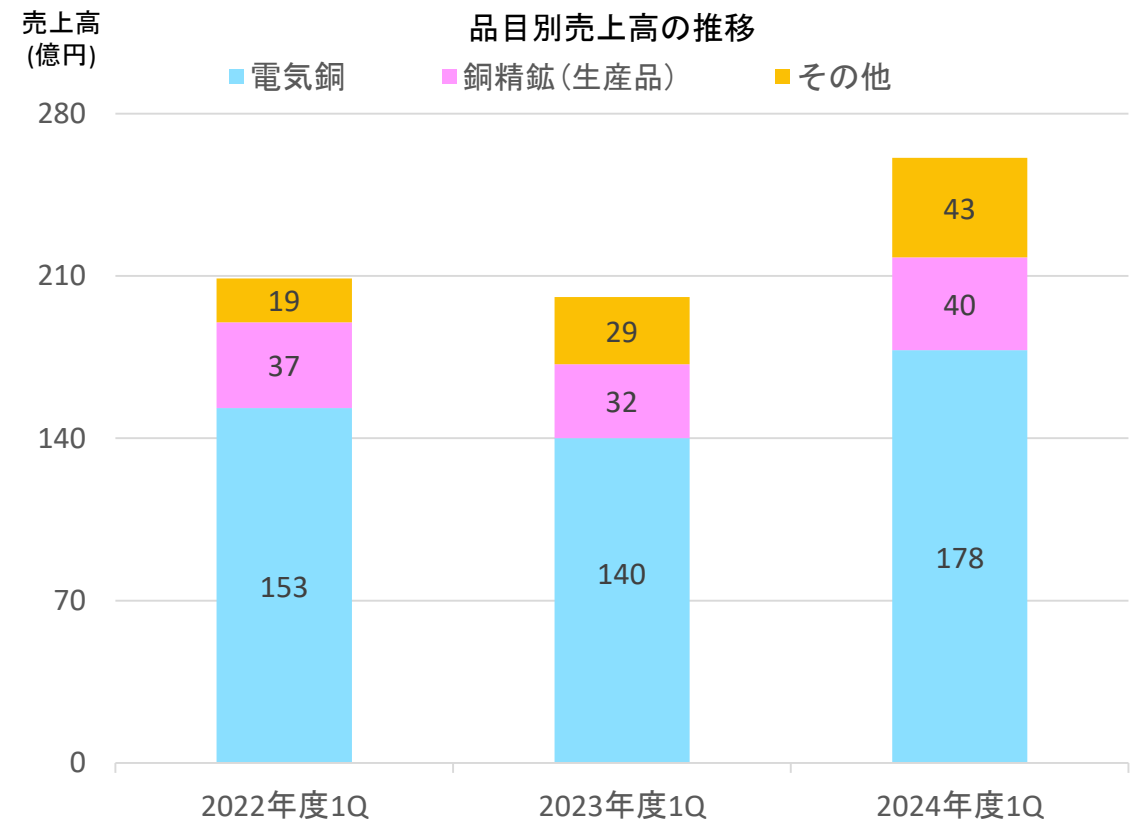
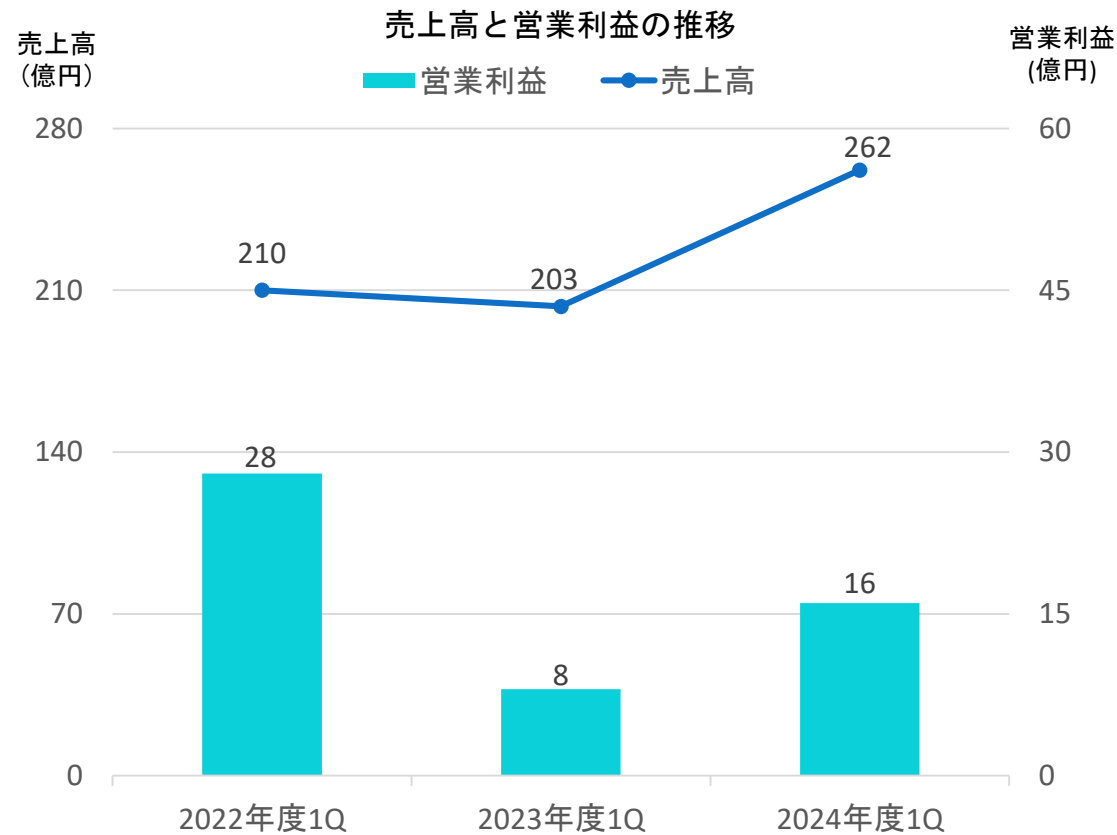


資源事業：鉱石部門 (参考) 用途別石灰石販売数量の推移



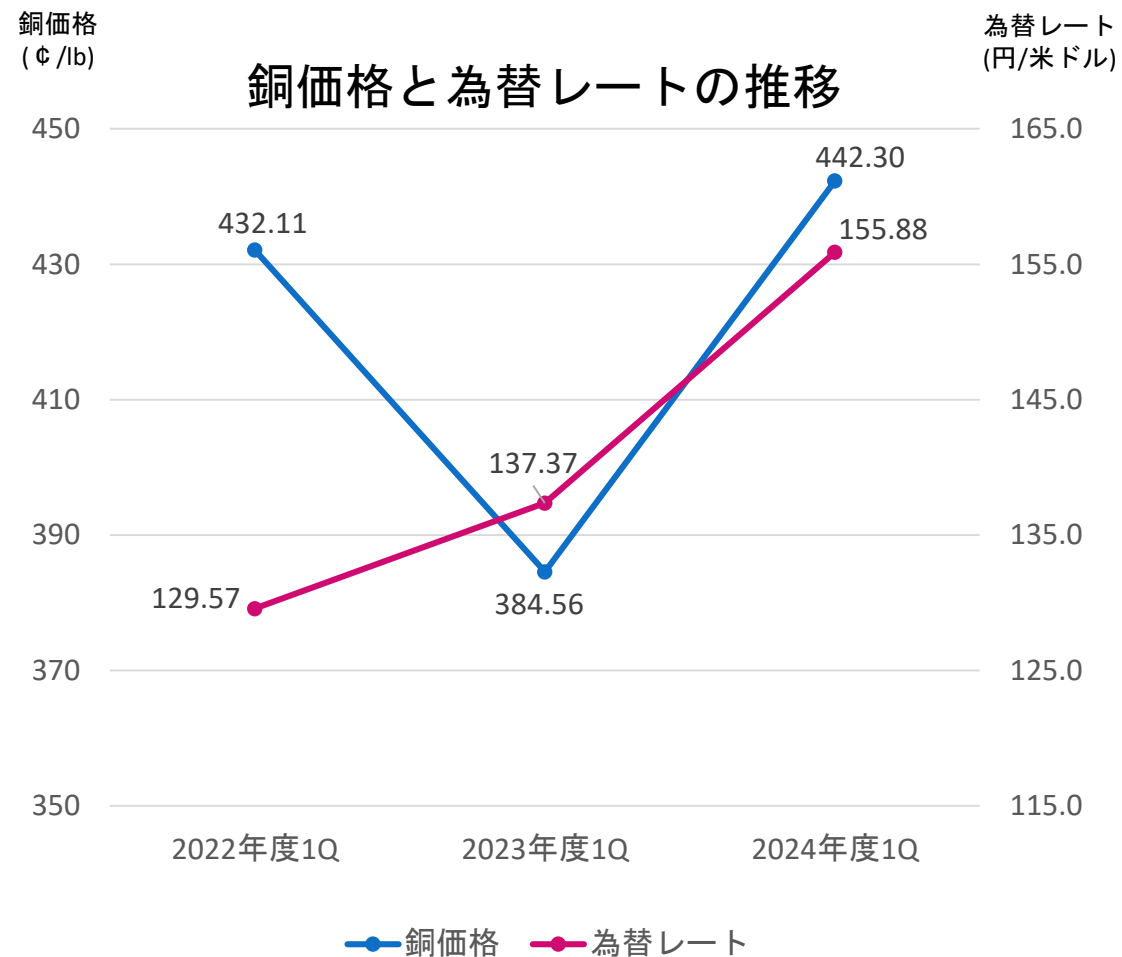
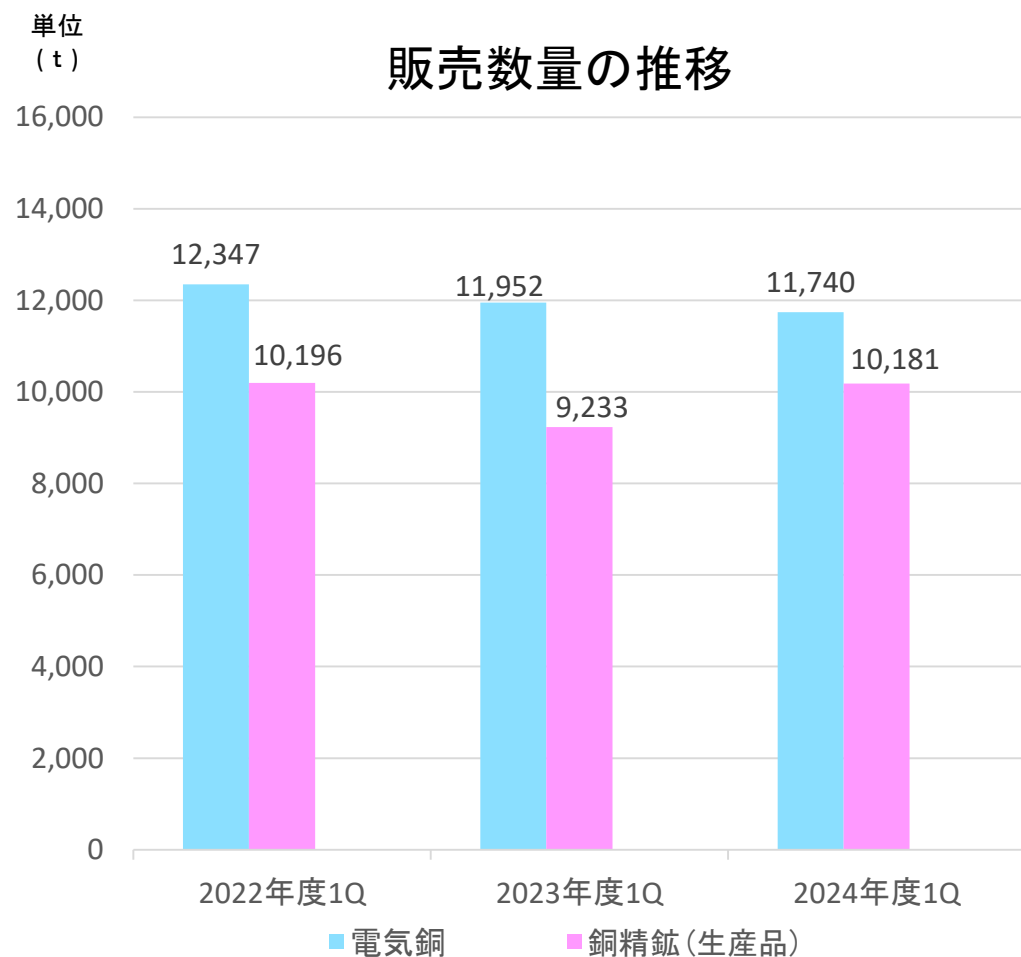
2. 2024年度 第1四半期 セグメント別連結決算概要 資源事業：金属部門

- 金属部門は、売上高は電気銅、電気金の国内販売価格の上昇及び銅精鉱の増販等により増加し、営業利益は円安の進行の影響等により増加した。



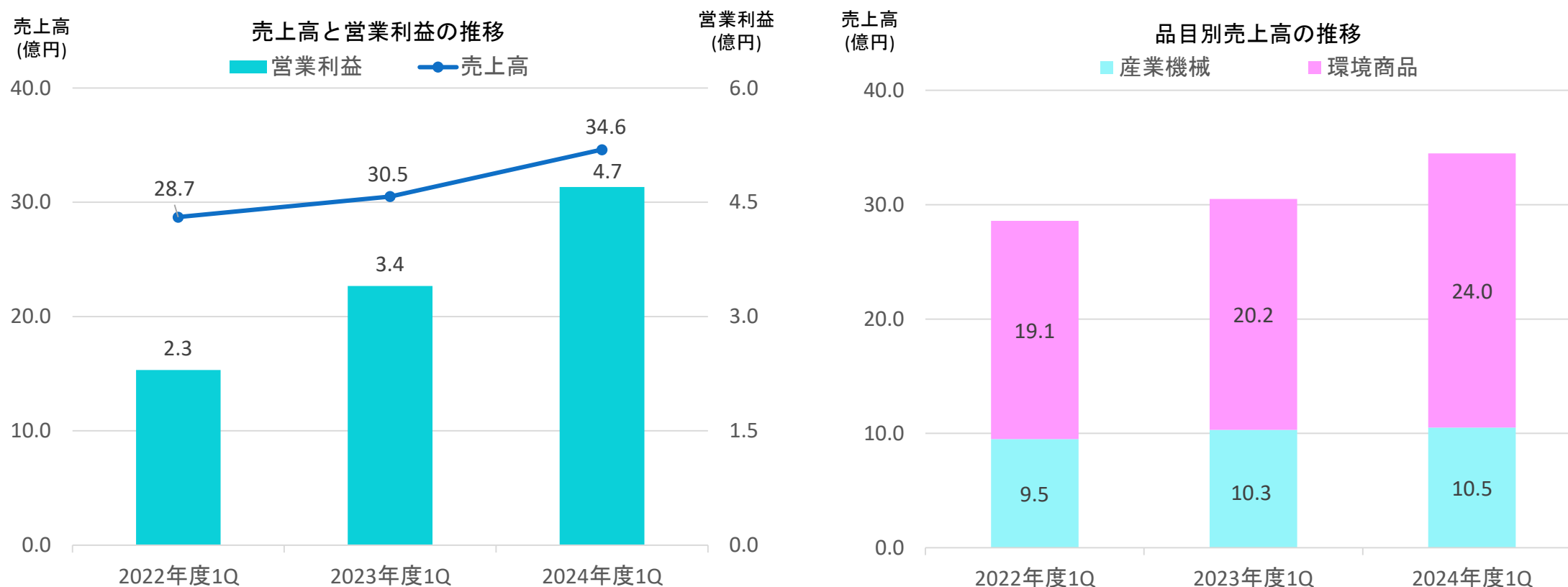
資源事業：金属部門

(参考) 販売数量の推移、銅価格と為替レートの推移



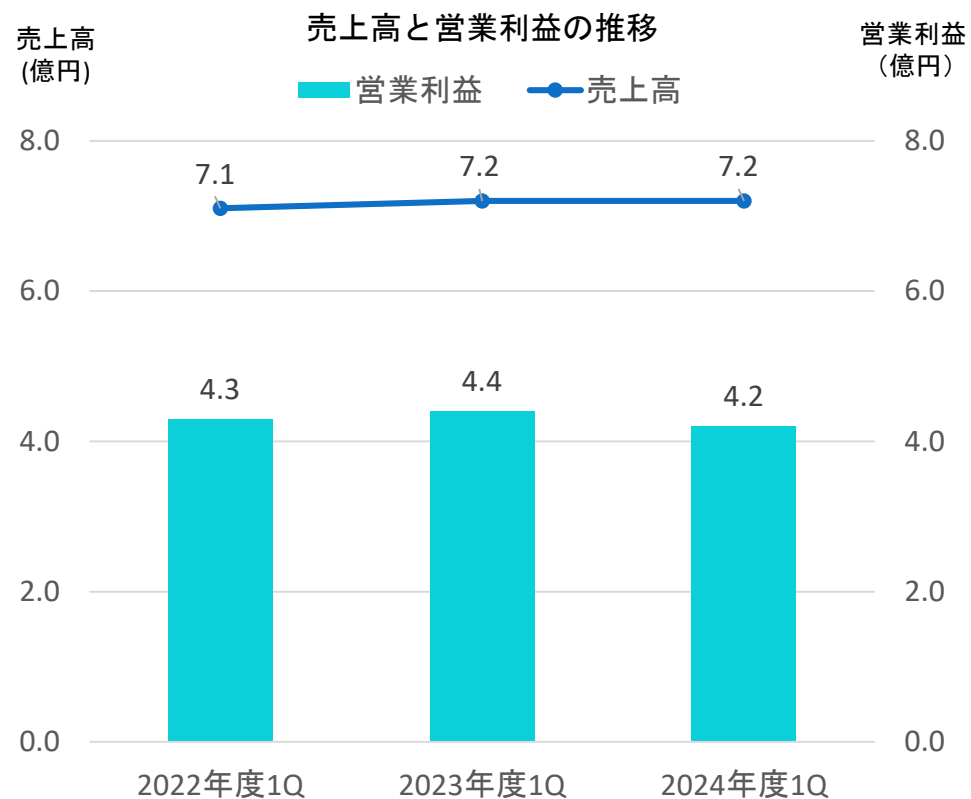
2. 2024年度 第1四半期 セグメント別連結決算概要 機械・環境事業

- 機械・環境事業は、環境部門の販売が好調であったことに加え、機械部門における販売も順調に推移したことにより、売上高、営業利益ともに増加した。

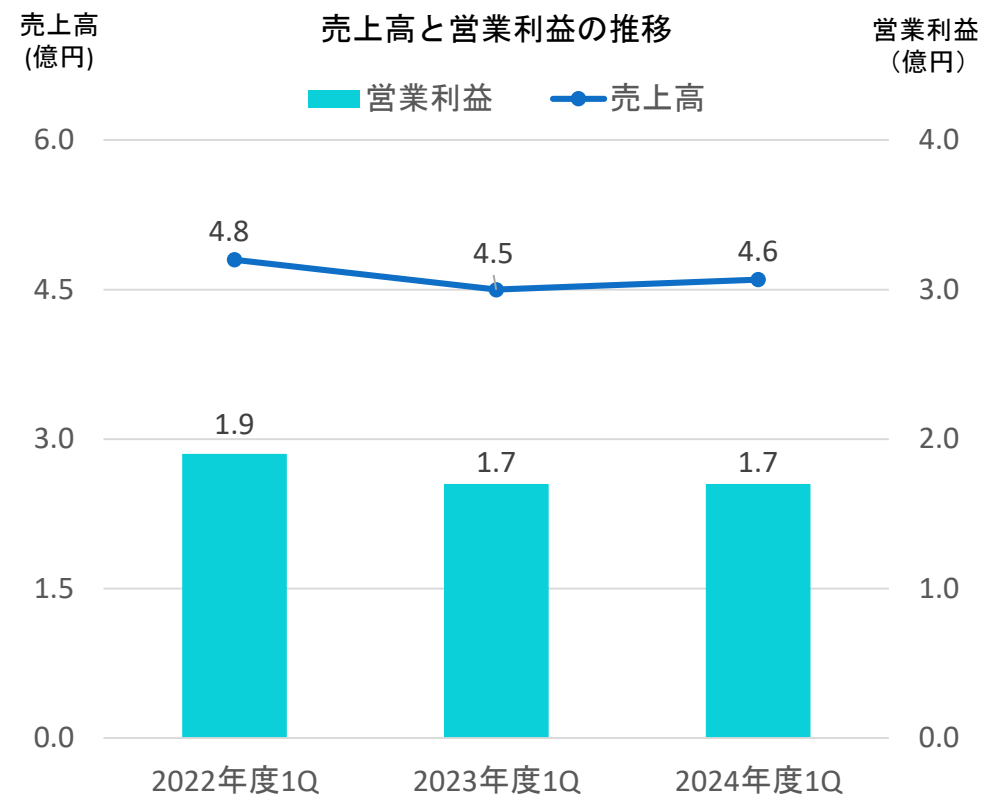


2. 2024年度 第1四半期 セグメント別連結決算概要 不動産事業、再生可能エネルギー事業

- 不動産事業は、売上高、営業利益ともに前年同期なみ



- 再生可能エネルギー事業は、売上高、営業利益ともに前年同期なみ



3. 連結貸借対照表

(単位：億円)

	2024年3月31日	2024年6月30日	増減
流動資産 計	1,050	1,230	179
現金及び預金	374	399	25
受取手形、売掛金及び契約資産	338	349	10
棚卸資産※	282	408	125
固定資産 計	1,244	1,264	19
有形固定資産	708	718	10
無形固定資産	40	41	1
投資その他の資産	496	504	8
流動負債 計	542	692	150
支払手形及び買掛金	205	341	136
短期借入金	170	169	△1
固定負債 計	246	246	0
長期借入金	25	22	△2
退職給付に係る負債	12	13	0
純資産	1,507	1,555	47
自己資本	1,407	1,451	44
非支配株主持分	99	103	3
総資産	2,295	2,495	199

※棚卸資産 = 商品及び製品 + 仕掛品 + 原材料及び貯蔵品

4. 2024年度 中期経営計画の進捗 (連結)

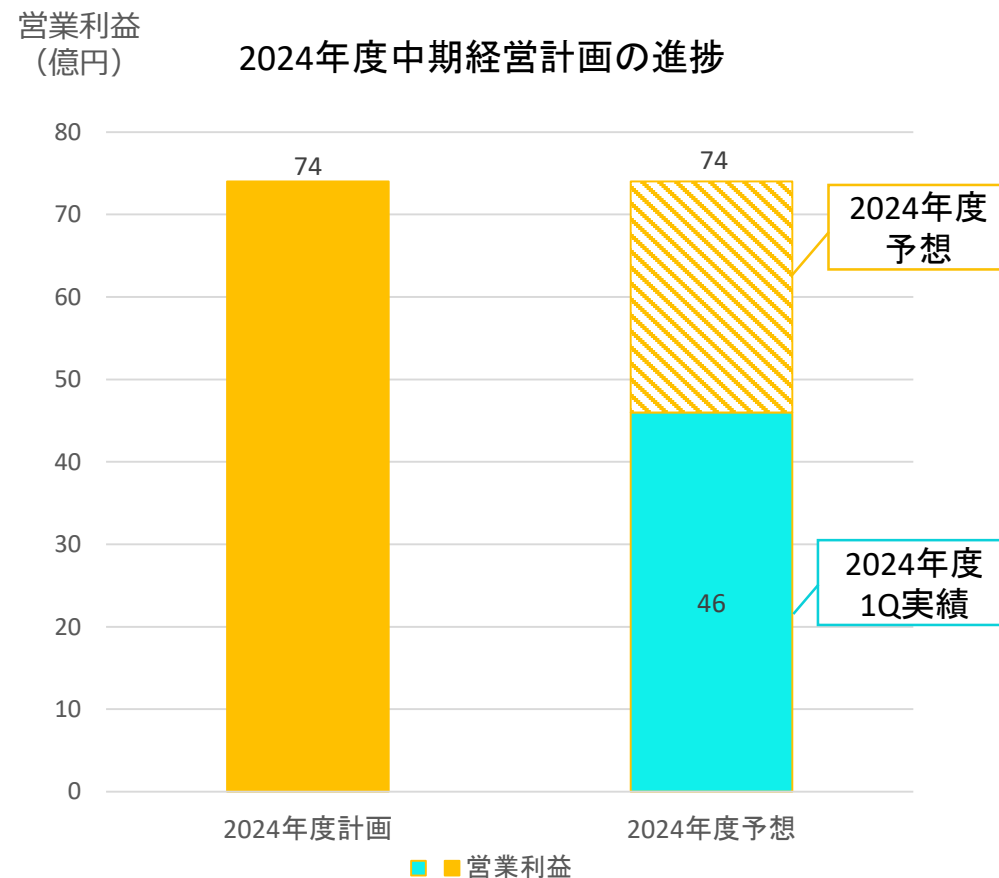
◆ 2024年度計画の営業利益の1Q時点での進捗率は**62%**。

⇒主な要因：鉱石部門 主力生産品である石灰石の販売価格の上昇及び増販等により増収、増益
 金属部門 銅価の上昇及び円安進行の影響により増収、増益

(単位：億円)

<業績>	2024年度計画	2024年度1Q実績	進捗率
売上高	1,814	469	26%
営業利益	74	46	62%
資源事業：鉱石部門	67	23	34%
資源事業：金属部門	1	16	16倍
機械・環境事業	13	4	31%
不動産事業	16	4	25%
再生可能エネルギー事業	3	1	33%
調整額	△26	△5	19%

<前提条件>	2024年度計画	2024年度1Q実績	増減
銅価格 (¢/lb)	400.00	442.30	42.30
為替レート (円/米ドル)	140.00	155.88	15.88



5. 2024年度 連結業績予想

◆ 2024年度予想の前提となる為替レートを見直したが、業績予想については2024年5月13日公表値より変更ない。

(単位：億円)

	2023年度実績	2024年度予想	増減
売上高	1,668	1,814	146
営業利益	111	74	△37
経常利益	120	82	△38
親会社株主に帰属する当期純利益	66	67	1
1株当たり当期純利益 (円)	396.88	402.74	5.86
銅価格 (¢ / lb)	379.28	400.00	20.72
為替レート (円 / 米ドル)	144.62	145.00	0.38

※2024年度の通期相場見通しについて、2024年5月13日公表時の為替レート140.00円 / 米ドルより、為替レート145.00円 / 米ドル (第2四半期以降140.00円 / 米ドル) に見直し。

1株当たり配当額 (円)	169.00	161.00	△8.00
--------------	--------	--------	-------

■ 感応度 (第2四半期以降)

(単位：億円)

銅価格	10 ¢ / lb上昇	売上高への影響 営業損益への影響	+13.4 +1.6
為替レート	5円 / 米ドル円安	売上高への影響 営業損益への影響	+20.1 +1.2

5. 2024年度 連結業績予想（セグメント別）

■セグメント別売上高、営業利益

（単位：億円）

	売上高		
	2023年度 実績	2024年度 予想	増減
資源事業：鉍石部門	615	676	61
資源事業：金属部門	883	962	79
機械・環境事業	140	148	8
不動産事業	28	28	—
再生可能エネルギー事業	17	17	—
調整額	△17	△17	—
合計	1,668	1,814	146

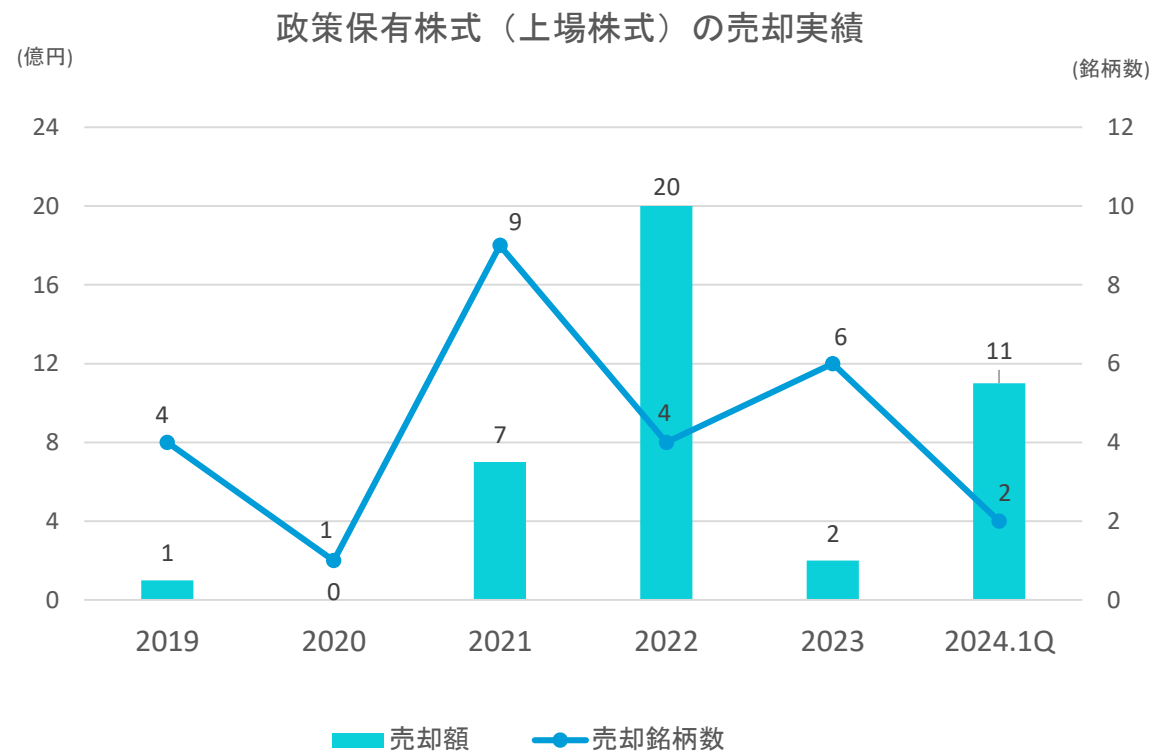
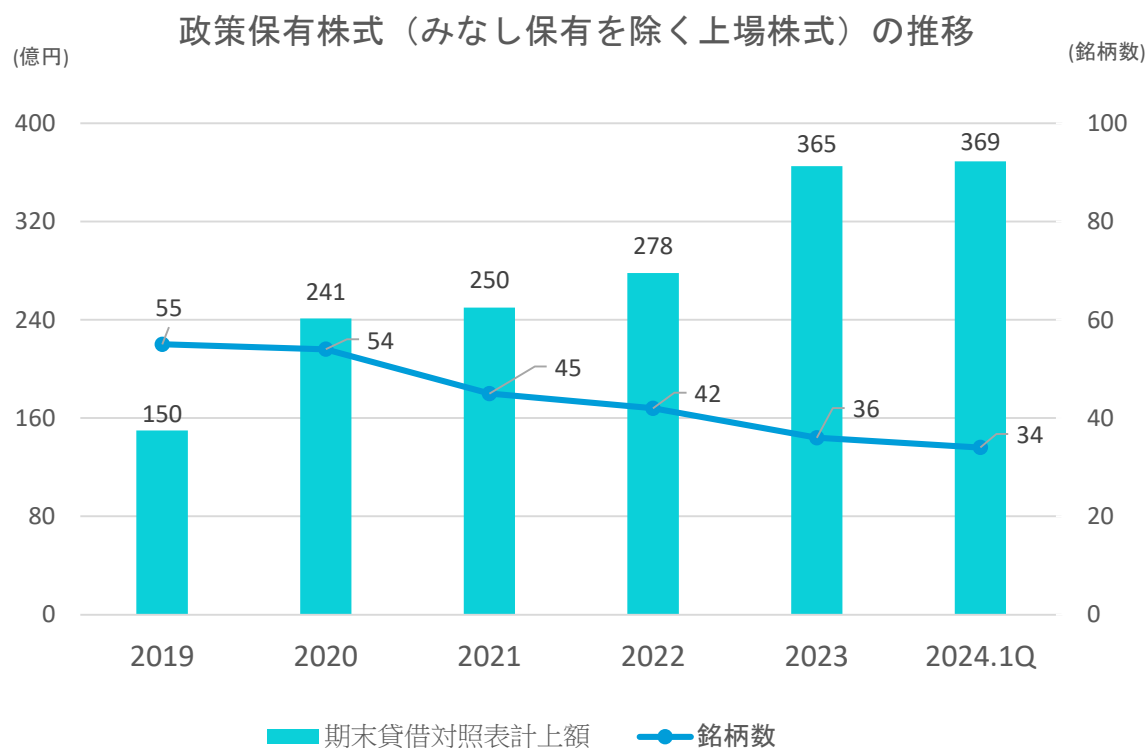
営業利益		
2023年度 実績	2024年度 予想	増減
59	67	8
29	1	△28
14	13	△1
16	16	—
5	3	△2
△15	△26	△11
111	74	△37

6. 政策保有株式に関する方針

当社は、2023年9月29日に公表した統合報告書に記載のとおり、2022年度～2026年度の5年間で60億円（2022年3月末時価基準）の政策保有株式を縮減する計画としています。

2024年度においては、第1四半期に2銘柄、11億円（2022年3月末時価は12億円）を売却しました。

政策保有株式の議決権の行使については、当社及び投資先企業の中長期的な企業価値向上に繋がるか、また当社の株式保有の意義が損なわれないかを判断基準として、適切に行使します。



7. 株主還元方針

連結配当性向40%を目途に還元、時価換算DOE3%またはDOE3%を配当下限值

当社は、株主の皆様への利益還元の拡大を図りながら、長期安定的な配当方針を明確にするため、連結配当性向40%を目途に配当を実施するものとし、また、年度末時点のPBRが1倍未満の場合には、時価換算DOE（※1）3%を配当下限值とし、年度末時点のPBRが1倍以上の場合には、DOE（※2）3%を配当下限值としております。

※1. 時価換算DOE = 1株当たりの年間配当金 ÷ 年間平均株価（日毎終値の単純平均）

※2. DOE = 1株当たりの年間配当金 ÷ 1株当たりの年度末連結純資産額（非支配株主持分除く）

（参考）連結配当性向実績と予想

2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度(予想)
17.1%	16.6%	22.2%	30.0%	30.2%	42.6%	40%目途

8. 2024年度 第1四半期 トピックス

■ 鳥形山鉱業所 第3立坑の竣工：グローバル安定供給体制を強化

- ✓ 10年後を見据えた成長戦略「各鉱山の収益最適化」や「最適生産体制の構築」に資する取り組み。
- ✓ 総工事費は約200億円。本年度の減価償却費（22億円）は、6月の竣工を受け、主に第2四半期以降に償却を計画。

■ IR部門の新設：資本コスト低減を志向

- ✓ 資本市場との対話や情報発信の拡充をとおして、資本コスト低減を図る。

ホームページ 投資家情報：
[投資家情報 | 日鉄鉱業株式会社 \(nittetsukou.co.jp\)](https://nittetsukou.co.jp)

お問い合わせ、取材のご依頼：
info-nmc@nittetsukou.co.jp



鳥形山鉱業所 第3立坑 破碎机

注意事項

将来に関する記述等についてのご注意

- 本資料における業績予想等の将来に関する記述につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
- 実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



日鉄鉱業株式会社